

やきとりだいちゃん

飲食業

浦和区に店舗を構える焼き鳥居酒屋。岩手県産の優良肉用鶏「せせり世鶏」を使用した高品質な焼き鳥を提供し、創業13年を数える老舗。

補助事業名	さいたま市DX推進補助金	実施時期	令和3年度
申請テーマ	BlaynPOSシステムの導入補助		

コロナ禍を転機とした 経営革新への挑戦

同社は、浦和駅前という好立地と長年の取引による良質な食材の確保を強みとしている。地元密着型の経営により8割というリピート率を誇る一方で、店舗型の飲食業態であることから新型コロナウイルスの影響を強く受けていた。コロナ禍における経営課題を克服するため、テイクアウト需要への対応を強化する方針を打ち出した。特に既存顧客からのテイクアウト要望が増加しており、この需要に応えることが急務となっていた。そうした中、事業再構築補助金の活用を検討する過程でさいたま市産業創造財団の存在を知ることとなった。

財団の事業計画策定の支援を受け、その後、DX支援の一環としてPOSシステムの導入を決定するに至った。財団からの支援により、システム導入に関する具体的なアドバイスや補助金申請のノウハウを得ることができ、スムーズな導入計画の策定が可能となった。

経営課題の解決に向けた POSシステムの戦略的導入

店舗改築工事を機に、経営のデジタル化を推進する必要性に迫られていた。従来の手書きによるオーダーシステムや対面注文では、テイクアウト需要の増加に対応できず、また経理処理やシフト管理などの業務負担が大きかった。特に繁忙期には伝票処理に多くの時間を要し、本来の接客業務に支障をきたすことも少なくなかった。さらに、コロナ禍における感染リスク低減の観点からも、非対面での注文システムの導入が急務となっていた。このような課題解決に向けて、Blayn POSレジシステムを導入することとなった。

同システムは、スマートマシンからのオーダー受付、テイクアウトやデリバリーオーダーの管理、席稼働状況の把握、商品説明機能、顧客情報管理、キッチンプラットフォーム連携などの機能を備えている。また、ABC分析や売上分析、会計クラウドシステムとの連携も可能で、軽減税率やインボイス制度にも対応している。システムの導入期間

は2021年10月からの6ヶ月間とし、この間に段階的な運用テストと従業員のトレーニングを実施した。特に会計処理の自動化については、税理士との連携も図りながら、確実な移行を進めていった。店舗の改築に伴い席数を16席から30席に増やす計画もあり、この規模拡大に対応する効率的な店舗運営体制の構築も同時に進められた。

デジタル化がもたらした 経営効率の飛躍的向上

POSシステムの導入により、売上や在庫の自動把握が可能となり、経理作業の負担が大幅に軽減された。紙ベースでの伝票管理が不要となり、保管スペースの有効活用も実現した。商品の出数分析が容易になったことで、在庫管理や顧客管理が効率化され、経営判断の精度が向上した。特に、ABC分析によって無駄な在庫を抱えることが少なくなり、スタンバイ作業の効率化によって食材の無駄も削減された。アルバイトスタッフへの業務指示も明確化され、労働コストの削減にもつながっている。導入から数ヶ月で、日次の会計処理時間が約2時間から30分程度まで短縮されるなど、具体的な効果が表れている。

今後の展望として、発注システムの導入を積極的に検討している。現状の「感覚」に基づく発注方法を改善し、必要な食材量を自動計算できる仕組みの導入を目指している。このシステムが実現すれば、経験の浅いスタッフでも効率的な発注業務が可能となり、さらなる業務効率の向上が期待できる。また、蓄積されたデータを活用した新メニューの開発や、顧客の嗜好に合わせた商品提案など、より戦略的な営業展開も計画している。現状の雇用を維持しつつ、事業拡大に向けた体制整備も進めており、新規スタッフの採用も視野に入れている。これらの取り組みにより、テイクアウト事業を新たな収益の柱として確立し、持続的な成長を実現することを目指している。

Company Data

- 代表取締役：高野 大輔
- 所在地：埼玉県さいたま市浦和区
- 従業員数：9名
- 設立年月日：2011年6月6日